

令和2年 網走市議会  
総務経済委員会会議録  
令和2年8月17日(月曜日)

- 日時 令和2年8月17日 午前10時16分開会  
○場所 議場  
○議件
1. 議案第1号 令和2年度網走市一般会計補正予算中、所管分
  2. 議案第2号 網走市麦類乾燥調製貯蔵施設新設建築主体工事(1工区)請負契約の締結について
  3. 議案第3号 網走市麦類乾燥貯蔵施設新設建築主体工事(2工区)請負契約の締結について
  4. 議案第4号 網走市麦類乾燥貯蔵施設新設電気設備工事請負契約の締結について
  5. 議案第5号 財産の取得について
  6. 議案第6号 財産の取得について

観光商工部長	田口 徹
観光商工部次長	秋葉 孝博
建設港湾部長	吉田 憲弘
企画調整課長	北村 幸彦
総務防災課長	田邊 雄三
総務防災課参事	渡辺 昭
観光商工部参事	前田 関羽
建築課長	小原 功
都市管理課長	澁谷 一志
都市管理課参事	石井 公晶

○事務局職員

事務局 長	武田 浩一
総務議事係長	神谷 浩一
総務議事係	早渕 由樹

午前10時16分開会

○出席委員(8名)

委員 長	立崎 聡一
副委員 長	松浦 敏司
委員	石垣 直樹
	小田部 照
	川原田 英世
	栗田 政男
	澤谷 淳子
	山田 庫司郎

○欠席委員(0名)

○委員外議員(1名)

議 長	井戸 達也
-----	-------

○傍聴議員(4名)

金 兵 智 則
永 本 浩 子
古 田 純 也
村 椿 敏 章

○説明者

副 市 長	川 田 昌 弘
企画総務部長	岩 永 雅 浩

○立崎聡一委員長 ただいまから総務経済委員会を開会いたします。

開会にあたりまして、今日は暑いので、上着のほうを取ってもらっても構わないと思いますので、よろしくお願いたします。

本日の委員会では、付託されました議案6件について審査いたします。

それでは、まず初めに、議案第1号令和2年度網走市一般会計補正予算中、新型コロナウイルス感染症対策事業、避難所感染症対策事業について説明を求めます。

○田邊雄三総務防災課長 議案資料4ページ、資料1号を御覧願います。

議案第1号令和2年度一般会計補正予算中、所管分の避難所感染症対策事業について御説明いたします。

初めに、1の補正の理由及び内容ですが、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、避難所における感染症対策として、西コミュニティセンター和室に体調不良者専用室を確保するにあたり、3室がつながる和室のふすま、間仕切り2カ所のうち、1カ所を気密性の高い可動式間仕切りとする改修を行うものです。

経費の内訳については、天井と一部の床の改修

と、稼働式間仕切り設置の工事請負費、422万4,000円となります。

次に、2の補正額ですが、(1)の歳出予算は、避難所感染症対策事業に422万4,000円を追加しようとするものです。

補正に関わる財源につきましては、全額新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で、これを(2)の歳入予算に追加するものです。

以上で説明を終わります。

**○立崎聡一委員長** それでは質疑に入ります。

**○川原田英世委員** コロナ禍における、避難の対策ということで理解いたしました。

それで、西コミセンでの改修ということなんですが、ほかの避難所の状況はどうなっているのか、ほかの避難所は、感染者の対応というのは十分とれているのか、その確認をしたいと思います。

**○田邊雄三総務防災課長** 国から示されている感染症対策として、一般の避難者などと部屋を分けて、体調不良者専用室の設置が示されているところで

す。ある程度の数の避難者の受入れが想定される、学校、他のコミセンについては、体調不良者専用室として、一部屋の確保、または近場に避難所となりうる施設の確保ができたところでありますけれども、西コミセンについては、部屋数も少なく、一つの部屋の中でも機密性を高めて、部屋を有効的に使うため、今回の改修に至ったところで

**○川原田英世委員** わかりました。

ほかのところは、そういった部屋があるけれどもということで理解しました。

西コミセンは、これからということなんですけれども、これから台風のシーズンだとか、災害の多い時期に入ってくるんですけれども、いつ頃までにできる予定なのかお伺いします。

**○田邊雄三総務防災課長** 今回の工事につきましては、11月頃をめどに完了するというふうに予定しております。

**○川原田英世委員** はい、わかりました。

できるだけ、速やかにできるようにしていただきたいなというふうに思いますし、実際に、無いにこしたことはないんですけれども、災害というのはいつ起こるかわかりませんので、そのほかのマニュアルも、この前も実際に運営してみて、いろいろ課題もあったと思いますので、その面も含めて、取組を前に進めていただければと思いますので、よろしく

お願いします。

以上です。

**○立崎聡一委員長** 他に。

**○松浦敏司委員** 体調不良者という言い方なんですけれども、当然、体調不良者の中には、熱があって、場合によっては、コロナの疑いがあるというようなことも、当然想定に入っていると思うんですが、いわゆるその体調不良者というのは、どういう人達のことを指しているのか、まず伺いたいと思います。

**○田邊雄三総務防災課長** 国から示されています、一般の避難者と分けて確保が想定されるゾーンとしましては、新型コロナウイルス感染者との濃厚接触者、あと発熱のある人、あと妊婦というふうになっております。

**○松浦敏司委員** それで問題は、そこの部屋に行くまでの関係で、どうしても一番いいのは、一般の人たちと動線が別であるというのが一番好ましいと思うんですけれども、その辺は西コミセンだけでなく、ほかのコミセンも含めて、どのような形をとるのでしょうか。

**○田邊雄三総務防災課長** 学校等基本的には体育館のほかに、体調不良者専用室として教室を使うこととして体調不良者と、一般人がトイレ等へ行くときには、動線が交わらないようにするというようにしております。

ほかのコミセンについても、1階、2階に分けるなど、そういう対策がとれるところはとる、または、ほかの近くの施設を使うということで、極力動線を避けるような形での計画を立てているところで

す。ただ、西コミセンにつきましては、平屋で規模も小さいため、今回和室を想定したところは、体育館と対極にあり、角の和室のところを改修して間仕切ることにより、一定程度の動線は分けられるという、極力避けられるような形での改修工事というふうに予定しております。

**○松浦敏司委員** わかりました。

**○立崎聡一委員長** 他にございませんか。

**○澤谷淳子委員** すいません、1室何名くらいの感じなんでしょうか。

**○田邊雄三総務防災課長** 今回の西コミセンの和室につきましては、約21畳あります。

今回の対策基準で、段ボールベッドを設置すれば、4台から5台設置する形になります。

○澤谷淳子委員 はい、わかりました。

ありがとうございます。

○立崎聡一委員長 他に。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なきようですので、続きまして、議案第1号令和2年度網走市一般会計補正予算中、新型コロナウイルス感染症対策事業、庁用オンライン会議環境整備事業について説明を求めます。

○田邊雄三総務防災課長 議案資料5ページの資料1号を御覧願います。

議案第1号令和2年度一般会計補正予算中、所管分の庁用オンライン会議環境整備事業について御説明をいたします。

初めに、1の補正の理由及び内容ですが、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス感染症拡大期においても緊急度の高い感染症対策や、災害対策に関わる庁内の協議、会議をオンラインで行えるよう、セキュリティの高いオンライン会議システムを導入しようとするものです。

経費の内訳としては、30人分のシステムライセンス使用料、1人当たり1カ月550円の今年度分の7カ月分で11万6,000円、管理活用機器の整備としてタブレット型パソコン、モバイルルーター、プロジェクターなどの備品購入として38万6,000円で合計50万2,000円となるものです。

次に、2の補正額ですが、(1)の歳出予算は、庁用オンライン会議環境整備事業に50万2,000円を追加しようとするものです。

補正に係る財源につきましては、全額新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で、これを(2)の歳入予算に追加するものです。

以上で説明を終わります。

○立崎聡一委員長 質疑に入ります。

○川原田英世委員 内容はわかりました。

コロナが発生してから、民間ではもうほとんどのところがオンラインで、会議を進めてきているところなんですけれども、行政はなかなか進まなかったというところで、ここに来てという感があるんですが、これまでは、こういった運用は一切されていなかったということなんでしょうか。

○田邊雄三総務防災課長 これまでは災害対策等においては、会議をする前段で、電話で複数の調整をしたりですとか、会議に出られない人は、代理に出てもらってですとか、そういう対応にしていました

けれども、今後は電話の同時利用ですとか、ビデオ会議もできるような体制をとって対応にあたっていきたいというふうに思います。

あと、ビデオ会議につきましては、庁内の一部では、整備をされて活用しているところもありますけれども、災害対策では今は使っていなかったのも、整備をしたということになります。

○川原田英世委員 災害対策としての整備ということ、これは日常的には扱わないということになるんでしょうか。

○田邊雄三総務防災課長 全庁的な情報化についての検討につきましては、情報政策課が行っております、そこが今検討中ということで、整備されるまでの間、新型コロナウイルス感染症の拡大期に備えて、今回、部長職と災害対応の初動対応の一部の課長職に今回のシステムを入れることを計画したところですよ。

○川原田英世委員 ということは、システムは入れるけれども、日常的には活用は考えていないということと理解していいんでしょうか。

○田邊雄三総務防災課長 部長会議等、このシステムが入っている特定のところについては、日常でも使う場面があれば、活用したいというふうには考えております。

○川原田英世委員 せっかく入れるということと、日常的にも非常に有効的に使えるものだというふうに思いますし、これからの時代を考えれば、日常的に使ってみて、不具合とか、有効活用方法とかも、日常的に使う中で見えてくると思いますし、それによって、在宅勤務というか、そういうところの考え方も広がっていけば、いろんな可能性がまた見えてくると思うんですよ。

これをきっかけに、こういった技術の庁内での普及というものが広まっていくことになれば、僕はいいことだと思いますので、災害対策とかにこだわらずに、せっかく入れたシステムですので、日常的に使うような工夫をぜひしていただきたいと思います。

これは意見です。

○立崎聡一委員長 他に。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

続きまして、議案第1号令和2年度網走市一般会計補正予算中、新型コロナウイルス感染症対策事業、東京農大学生支援金給付事業について説明を求めます。

**○北村幸彦企画調整課長** 議案資料6ページを御覧ください。

令和2年度一般会計補正予算中、企画振興費の東京農大学生支援金給付事業につきまして、御説明いたします。

1、補正の理由及び内容であります。国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済的に厳しい状況に置かれた東京農大学生物産業学部等の学生を支援するため、経費を追加補正するものであります。

追加補正する内容としては、学生支援金として1,750万円を計上するものです。

2、補正額の(1)歳出予算は記載のとおりです。

財源内訳は全額国庫補助金1,750万円となっております。

(2)歳入予算の科目及び補正額につきましては記載のとおりであります。

3、事業の概要であります。給付対象者は、東京農大学生物産業学部及び大学院生物産業学研究科に在学し、文部科学省の学生支援緊急給付金を受給する学生とし、給付額は1人当たり5万円とします。

説明は以上でございます。

**○立崎聡一委員長** 質疑に入ります。

**○山田庫司郎委員** 学生も、大変な学生もいらっしゃるから、そういう意味でいい事業かなというふうに、まず前段申し上げたいというふうに思いますが、1,750万円ということで、逆算しますと350名程度の方たちが、学生がですね、支援緊急給付金を受給したということの、基礎資料か何かをもとにした予算計上なんでしょうか。

**○北村幸彦企画調整課長** この対象者であります、文部科学省の緊急給付金の対象者でございますが、東京農大に確認したところ、オホーツクキャンパスで337名が受給対象者ということで伺っております、今後万が一、追加で受給対象者が出たことを想定いたしまして、一応350名ということで予算計上しております。

**○山田庫司郎委員** それで、手元に給付を受けた学生の台帳か何かがあれば、要するにこちらからある程度案内をするのか、申請を待つのか、その辺はどうなんでしょうか。

**○北村幸彦企画調整課長** こちらの給付金につきま

しては、基本的に東京農業大学のほうで学生を押さえている形になります。

ちょっと支給の仕方は、早急に対応できるように、やり方を含めて東京農大と詰めていきたいと考えております。

**○山田庫司郎委員** わかりました。

なるべく申請となると、大変な部分も一つありますから、できるものならこちらから出して、返事を待つという方法もあるかなとこんなふうに思います。

ただ、ここに事務費的なものがないので、もし農大さんあたりがいろんな意味で関わる時にですね、ある程度の何かも考えなければならぬのかというふうにちょっと思うんですが、その辺はいかがなんでしょうか。

**○北村幸彦企画調整課長** 今回の給付金にあたりまして、事務費は一応計上しておりません。

農大のほうにつきましても、若干手間がかかるんですけども、その辺ちょっとご協力をいただきながらですね、この給付金の支出に当たりたいと考えております。

**○山田庫司郎委員** ありがたい話ですけども、なるべく負荷のかからないよう、考えていただくことをお願いいたします。

以上です。

**○立崎聡一委員長** 他にございますか。

**○川原田英世委員** 5万円ということなんですが、この金額にした理由、根拠というものは、どういったところがあるんでしょう。

**○北村幸彦企画調整課長** 1人当たりの給付額なんですけれども、いろいろ検討した中で、全国の自治体でこういう学生支援を行っているケースを見たところ、3万円、5万円、10万円といろいろあるんですが、5万円が多いということで、それに倣って今回市としても5万円といたしました。

**○川原田英世委員** 市として学生の生活の状況を、ヒアリングとったとかそういった当事者に意見聞いたとか、そういった経過はないということでしょうか。

**○北村幸彦企画調整課長** 東京農業大学もですね、前期授業は遠隔授業ということで、学校には来ていない状況でございます。

その中で、東京農大といろいろ話をする中で、学生数、今回対象とした国の緊急給付金の学生数を考慮した中で、金額的に5万円ぐらいが適当でないか

というお話で決めさせていただきました。

**○川原田英世委員** 今回のことは理解をしました。

それで、やっぱりまだまだ長期化、先が見えないということがあって、やっぱり学生の皆さんも相当厳しい状況にある方もいるかと思しますので、今回これでまた、学生の間から声が上がったりだとか、国のほうからもいろいろ動きがあると思えますけれども、その状況を見ながら、長期化を見据えて、次の手もこれから検討していただければなどというふうに思います。

以上です。

**○立崎聡一委員長** 他にございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

続きまして、議案第1号令和2年度網走市一般会計補正予算中、新型コロナウイルス感染症対策事業、東京農大感染症対策等支援金給付金給付事業について説明を求めます。

**○北村幸彦企画調整課長** 議案資料7ページを御覧ください。

令和2年度一般会計補正予算中、企画振興費の東京農大感染症対策等支援金給付事業につきまして、御説明いたします。

1、補正の理由及び内容であります。国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、東京農業大学生物産業学部が行う感染症予防対策等を支援するため、経費を追加補正するものであります。

追加補正する内容としては、感染症対策等支援金として500万円を計上するものです。

2、補正額の(1)歳出予算は、記載のとおりです。

財源内訳は、全額国庫補助金500万円となっております。

(2)歳入予算の科目及び補正額につきましては記載のとおりであります。

3、事業の概要であります。当該支援金は、感染症予防対策及び学生の生活支援に対する経費とし、取組内容については、東京農業大学生物産業学部の判断によるものといたします。

説明は以上でございます。

**○立崎聡一委員長** 次に入ります。

質疑ございませんか。

**○山田庫司郎委員** 支援するということについては賛成の立場で、質問ちょっとさせていただきたいんですが、事業の概要の中に、感染予防対策及び学生

の生活支援に対する経費ということがうたわれてます。

例えば、これは農大のほうに判断は委ねるという書き方をしますけれども、どのようなことが想定されるんですか。

**○北村幸彦企画調整課長** 先ほどの事業の説明の中で、困窮する学生に対する支援という形で計上させてもらいましたけれども、今回、一般の学生につきましても、コロナウイルスの感染症の関係で、大なり小なり影響はあるだろうということでございまして、例えばなんですけれども、学生への昼食の支援とかですね、そういうところで、少しの生活の足しにもなるようなものを想定しております。

**○山田庫司郎委員** それで感染予防対策もですね、非常に規模が規模ですから、大変だというふうにちょっと思うところがありまして、今、内容を聞きました。

農大さんがどういうことを考えるかということが一つありますけれども、当然そのときには、市のほうとの相談はあるということによろしいですか。

言葉が悪いですが、丸投げして好きに使っていいですよということではないと思うんですが、その辺と、そうなりますと500万円というその根拠ですね、もう少し出してもいいかなとちょっと思うところがあるんですが、その辺ももし教えていただければと思います。

**○北村幸彦企画調整課長** この取組内容につきましては、農大のほうともですね、ある程度協議を行ってきたところであります。

具体につきましては、これから後期授業が始まりますので、どのようなところで、どのような形で使うかというのはですね、話し合いながら進めていきたいと考えております。

また金額につきましても、この金額が適当かどうかというところなんですけれども、なかなか判断が難しいところがございます。

農大としても、独自に対応しなければいけないと思っておりますが、この支援金をですね、少しでも足しにしてもらえればというふうに考えております。

**○山田庫司郎委員** いや、わかりました。

出せばもっと金額出してあげたほうが、その生活支援ということもお聞きをしますとですね、5万円の対象にならない方たちもある程度いるわけですから、非常に財政的にゆとりのある学生さんもいら

っしゃるかもしれませんが、いろんな方がいるということになると、本当に次の日体大の100万円というふうに考えますと、生徒数やいろんなこと考えますとね、500万円でもいいのかなという、ちょっと気持ちもありましたけれども、今説明あったように、学校自体でもいろんなこともちょっと考えられてるようですから、その一つの支援と起爆剤的なものも含めて、なればいいという説明ということで、お受けをいたしますけれども、そういう事ではないですね。

**○北村幸彦企画調整課長** 委員おっしゃるとおりのことを考えております。

**○山田庫司郎委員** わかりました。

**○立崎聡一委員長** 他にございますか。

**○川原田英世委員** まさに、その部分でちょっと、やっぱり学校側に支出をして、そして学校側もいろいろ考えて支出を実際はすると思うんですね。

それが、きっと一番濃い部分でのコロナ対策として使われることになるんだと思うんです。

いわば自治体と国の関係で言えば、一括交付金で地域でしっかり考えて使わせてくれよと同じことで、それがやっぱり実際に現場に即したものに使われていくと思うので、これからコロナが長期化することを考えていくと、そこで実際に、何にこういうふうに、学校が選択して使ったのかということ、我々も把握しておいたほうが、これからのコロナ対策の在り方というのに、大いに参考になると思いますので、この500万円なり100万円なりが、どのように使われて、有効活用されたのかということ、来年度の決算を待たず、どこかの段階で、できれば報告をしてほしいというふうに思うんですが、いかがでしょうか。

**○北村幸彦企画調整課長** 今回の給付金につきましては、内容につきましては、学校の判断によるものとしますけれども、実際にどのような形で使ったかというのは、もちろん情報としていただくこととしております。

**○立崎聡一委員長** 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なきようですので、続きまして、議案第1号令和2年度網走市一般会計補正予算中、新型コロナウイルス感染症対策事業、日体大高等支援学校感染症対策等支援金給付事業について説明を求めます。

**○北村幸彦企画調整課長** 議案資料8ページを御覧ください。

令和2年度一般会計補正予算中、企画振興費の日体大高等支援学校感染症対策等支援金給付事業につきまして、御説明いたします。

1、補正の理由及び内容であります。国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、日体大高等支援学校が行う感染症予防対策等を支援するため、経費を追加補正するものであります。

追加補正する内容としては、感染症対策等支援金として100万円を計上するものです。

2、補正額の(1)歳出予算は記載のとおりです。

財源内訳は、全額国庫補助金100万円となっております。

(2)歳入予算の科目及び補正額につきましては記載のとおりであります。

3、事業の概要であります。当該支援金は、感染症予防対策及び寄宿舍における生活支援に対する経費とし、取組内容については、日体大高等支援学校の判断によるものといたします。

説明は以上でございます。

**○立崎聡一委員長** 質疑に入ります。

質疑ございませんか。

**○山田庫司郎委員** これも今、農大の関係で聞きましたから、考え方は同じような考え方の聞き方になりますけれども、これもやっぱり日体大の高等支援学校との関係も、市のほうも密にしながらですね、相談しながら事業を進めると、そういうふうにぜひお願いしたいと思えますし、この100万円が本当に少ないのか多いのか、その辺もちょっと私もわかりませんので、先ほど川原田委員からもありましたけれども、本当は学校と事前にいろんな話を意見交換する中で、対応できていけば一番いいんだと思いますが、全てできるかは別にしてね。

ですから、これも先ほどの農大と同じですが、これをやってみる中で、いろんなことがまた見えてくるんだろうというふうに思えますので、そういう一つのスタートにさせていただくのも、ぜひ頭に入れていただければと。

これ100万円の根拠も特にはないですね。

**○北村幸彦企画調整課長** 先ほどの農大と同様に100万円が適当かどうかというのはちょっとわからないんですけれども、規模感として100万円。その中で日体大と話した中でも、そういう支援をしていただければ助かるという話を受けましたので、今回

100万円という形の計上となったところです。

○山田庫司郎委員 ぜひこれをスタートの基準にしてですね、実施する中でいろいろまた、考えていただきたいというふうに思います。

以上です。

○栗田政男委員 先ほどの農大の件と、これ合わせて同じようなことなので、僕は、この税金の使い道として、交付金であって、こういう形で来ているものであっても、根拠がないというのはいかかなものかなと思うんですね。

やはり、それは向こうから要望されて、こういうものが必要だとか、それに対する対応だとかあるのですが、どう二つとも聞いていても、丸投げしてこの辺で好きに使ってくれみたいな物の考え方で、本当にその支出の仕方でもいいのでしょうか。

原課としてどのように判断しているか、もう一度しっかり返答いただきたいと思います。

○北村幸彦企画調整課長 農大と日体大含めての支援金なんですけれども、こちらの基本的に農大と日体大と話は進めてきております。

農大につきましては、まだ学校が始まっていないということもございまして、授業の進め方も含めてですね、どういう使い方をするかというのは、まだはっきり見えない部分がございます。

ある程度、農大につきましては、例えばトイレの便座除菌のディスペンサーが整備されていないとかですね、そういう話も受けております。

学校で始まった段階で、生徒がどのような動きをするかということも含めてですね、柔軟に対応できるような形で今回計上したところであります。

先ほども申し上げましたが、実際、何に使ったかというのは、後ほど報告でいただく形になっておりまして、通常の補助金みたいな形の申請になりますと、やりとりで時間がかかるということもございしますので、先に金額を給付金という形で渡して、柔軟に対応していただき、後ほど必要な経費、使った分につきましては報告いただくという形をとらせていただきました。

○栗田政男委員 言っていることはわかるんですが、そういう内容で支援することに対しては、私も賛成をいたします。

ただ困っているのは、この二つだけではないんですね。

全市民がいろんなことで大変な思いをしている現状があります。

それを全て網羅することはできないと思いますけれども、やはりそれにはしっかりとした裏づけが必要ですし、今支援するからには、報告をもらうということは、当然の、当たり前のお話なので、これは税金ですから、税金を支出したことに対して、どういう使い方をしたというのは、結果報告をしっかりいただかないと、我々も通した以上責任があるので、しっかり報告をいただきたいと思います。

以上です。

○立崎聡一委員長 他に。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

続きまして、議案第1号令和2年度網走市一般会計補正予算中、新型コロナウイルス感染症対策事業、農大線密集対策事業について説明を求めます。

○秋葉孝博観光商工部次長 議案資料9ページを御覧ください。

農大線密集対策事業につきまして御説明申し上げます。

1、補正の理由及び内容ですが、国の地方創生臨時交付金を活用し、東京農業大学の後期課程の開始に伴い、網走バス農大線の密集を回避するため、バスの増車に係る経費を追加補正するものでございます。

2、補正額、(1)歳出予算は200万円で財源は全て国庫補助金でございます。

(2)歳入予算は、記載のとおりでございます。

次に、3、事業の概要ですが、(1)バス増車の条件は、農大線のバス定員を25名とし、これを超える場合に、バスを増車するものとします。

(2)対応期間ですが、東京農業大学のスケジュールに合わせて、9月7日より必要に応じて増車してまいります。

主なスケジュールですが、9月7日から9月11日が1年生を対象にしたオリエンテーション。

9月23日から後期日程が始まりますが、農大では、密集を避けるため、学生数を3分の1程度まで入校を制限するとしております。

説明は以上です。

○立崎聡一委員長 質疑に入ります。

質疑ございませんか。

○山田庫司郎委員 何点かちょっと確認をさせていただきたいと思います。

これは、以前にも支援するというところで、途中で、そんなにいなかったのとということで、十何万円ぐらいで終わった経過がきっとあると思います。

改めて夏休みも含めて終わりました、これから本格的に農大もですね、動き出すんだということが前提の話なのかなというふうにちょっと思っていますけれども、それで、今伺ったように、9月の7日からオリエンテーション、それが始まる。

23日からは後期の授業が始まって、3分の1ずつの通学ということで農大は考えているようです。

それで、ちょっと中身についてお聞きをしたいのは、定員25名以上の場合については、バスをもう1台増車をするというのですが、農大の路線は、1本だと私も思っていますけれども、ここに例えば、朝と帰りというふうに限定しながら、最初から増車をすることとなるのか、今、バス1台が来たけれども、もう27人になるから、すぐにバス来てくださいということにはきっとならないと思いますので、当初からある程度予定しておかないと、バスの確保もきっとできないように思うんですが、その辺はどういう対応で今考えているんですか。

**○秋葉孝博観光商工部次長** 最初言っていた予算ですね、200万円も含めまして、順を追って説明をさせていただきます。

まず、前年度の路線バス、網走バスの経費というのがもう決算が出ていますので、まず、増車1台当たりの経費を6,600円、これは農大までの距離がありますので、農大線につきましては、基本的には向陽から向かう路線と、駅前から向かう路線がありますので、20分間隔ぐらいで、順次朝9時から行くのですけれども、そういったまず状況があります。

その経費として、網走バスターミナルから増車する場合、ターミナルから路線バスが行きますので、ここの農大までの往復の距離も含めて、昨年度の決算の状況から見て、1回出すあたり6,600円というのが、まず経費としての単価になります。

対応期間につきましては、先ほど説明したとおり、9月7日から1月29日が、後期の日程で、春休み入りますので、これを最大としまして、この間で学生が大学に入校する可能性がある日が、全てで126日間としております。

実際のバスの乗降調査なんですけれども、6月の1週間、乗降調査をしている数値がありますので、これをもとにですね、バスがどれぐらい増車になるかというのを算定しております。

なお、先ほどから3分の1ということになりますので、実際乗った人数を、前年の6月の実数、これを3分の1に単純にしまして、それでもなお超え

る、25名を超える場合ですね。

これが1日当たり、平均1週間の中で、2.4台のバスが必要になるという数字を出しています。

126日間に1日あたりが2.4台ですので、全部でバスが、この間、去年の6月の平均どおり出れば303台の延べ台数が必要になります。

先ほどの6,600円という単価がありますので、これを303台乗じますと、199万9,800円という形で、200万円の予算を今回上程させていただいたところ です。

失礼しました。

実際にですね、どうオペレーションするかということなんですが、実際、このコロナ対策の前から農大線は当然ありますので、実際にはですね、バスターミナルから、路線としては大きくは2本、向陽から向かうバスと、駅前から農大へ向かうバス、さらに必要な場合は、バスターミナルからバスが出ますので、バスターミナルから実際にはバスは出ます。

ただ、実際にはですね、運転手のほうから連絡がありまして、相当人数がいるという時にはですね、例えば、総合体育館にバスが待機して迅速に向かう。これが、実際に今農大線については、こういうことが行われてます。

これが単純に3分の1になったら、どういう状況になるだろうかということなんですが、そのやり方としてはですね、これまでどおりの農大線における網走バスの運行に合わせて対応していきます。

**○山田庫司郎委員** 算出根拠といえますか、それをベースにして200万円近く、今回、提案されているんだというふうに、ちょっと中身についてわかりました。

それで、6,600円が非常に安いような気がするんですが、大変ありがたいですが、前は、企画のほうから出てきたやつが1日当たり6万円か、7万円ぐらいするのではないかというお話、ちょっと私の記憶にあるんですが、これは一路線を走った場合の、往復した分の6,600円ということで、これでいいわけですか。

**○秋葉孝博観光商工部次長** 前回ですね、農大線のバスが運行した臨時バスですが、これは貸切りバスになっています。

当時というか、そのときはまだ、日曜祝日ダイヤの運行としまして、路線バスが運行していない前提で、貸切りバスですから当然距離、時間等も含めて単価が違うということになります。

今、私どものほうで、上程させていただいたのは、あくまでも路線バスの増車になりますので、実際に路線バスにかかっている1キロ単価を出しまして、必要な往復ですから約20キロぐらいあるんですが、それをもって算出をしております。

○山田庫司郎委員 はい、わかりました。

いずれにしても、一応根拠はお聞きしましたし、303台分ということで、これが200万円で足りていくのかどうかも含めて、状況はある程度見なければならぬこともきつとあるんだろうと思いますから、もし不足になるようでしたら、またぜひ対応を含めてしていかなければならないのかなど、こんなふうになちょっと思っていますので、その辺も考慮していただきながら、ぜひきちんとという表現がいいか、ぜひ実施も含めてお願いしたいと思います。

○立崎聡一委員長 他に。

○石垣直樹委員 農大線におけるバスの定員を25名とするという議案ですけれども、桂陽高校に向かうバスにおいては、こういう施策は必要ないという判断でよろしかったですか。

○秋葉孝博観光商工部次長 高校生も、通学に使っていますので、それなりにバスが混むという状況を、実際に把握してございます。

桂陽高校につきましては、羽衣団地線、これ鱒浦方面から向陽の、ちょうど道職員住宅の前まで向かう便、これが最も多い、去年の実績ですけれども、実際には向陽の入り口に学生が待っていて、そこから乗り込むということになります。

走行時間でいきますと、上に上がるだけですので4分程度、それから利用者は41名でほぼ高校生ということで、実際にですね、バスに約70名乗る農大線の状況としては、やっぱり違うのかなということで、網走バスとも意見交換をしながら、ここにつきましては、増車までの必要はないというふうに判断をしております。

なお、南校につきましては、駅からスクールバスが出てまして、それが恐らく一番混んでおりますが、これにつきましては約30名程度で、駅から南校までの距離で7分程度の時間ですので、これも網走バスと意見交換をしまして、高校生については、今のところ必要ないということで意見を伺って、そのように判断をしているところです。

○立崎聡一委員長 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なきようですので、お諮りしたいと思います。

議案第1号令和2年度網走市一般会計補正予算中、所管分については、全会一致により原案可決すべきものとして決定してよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

そのように決定いたしました。

それでは、ここで理事者入替えのため暫時休憩いたします。

11時00分休憩

11時01分再開

○立崎聡一委員長 再開します。

次に、議案第2号網走市麦類乾燥調製貯蔵施設新設建築主体工事（1工区）請負契約の締結について説明を求めます。

○小原功建築課長 議案資料15ページ、資料2号、併せて別冊の図面資料2号から4号を御覧願います。

議案第2号網走市麦類乾燥調製貯蔵施設新設建築主体工事（1工区）請負契約の締結について御説明いたします。

契約の内容でございますが、入札執行は令和2年8月11日に、一般競争入札にて実施いたしました。

今回、落札業者の丸太、中一、夏見、特定建設工事共同企業体と、8億7,450万円で契約を行おうとするものでございます。

工事の完了予定日は、令和3年3月19日でございます。

工事の概要でございますが、契約の目的、工事施工場所につきましては記載のとおりでございます。

工事概要といたしましては、記載の機械棟、鉄骨造2階建、延べ床面積1,678.03平方メートルのうち、1工区施工分、978.64平方メートルでございます。

なお、図面資料1ページに、1工区2工区の区分表示をしてございませんので、御参照いただきたいと思います。

以上でございます。

○立崎聡一委員長 質疑に入ります。

○山田庫司郎委員 一般競争入札ということですから、1工区、それから2工区と電気設備工事の関係ですが、それぞれ何社で入札を終えて、落札率ですか、予定価格と契約金額の率を、もしわかれば教えていただきたいと思います。

○小原功建築課長 建築主体、1工区から申し上げますが、予定価格、さきすいません、業者数から申しますが、応札は6社による、6JVでとり行わ

れました。

このうち、市内業者であります、丸田、中一、夏見、JVが1工区を落札されたという状況でございます。

落札率の関係でございますが、予定価格は、税込みで8億9,430万円でございます。

落札価格が8億7,450万円でございますので、落札率といたしましては、97.79%ということになります。

このあと、議案のほうの御説明を申し上げますが、2工区につきましては、よろしいですかね。

**○山田庫司郎委員** ごめんなさい、1工区ずつやっていくのですか。わかりました。

そしたら1工区だけでいいです。

ありがとうございます。

**○立崎聡一委員長** 他に。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なきようですので、お諮りします。

議案第2号網走市麦類乾燥調製貯蔵施設新設建築主体工事（1工区）請負契約の締結については、全会一致により原案可決すべきものとして決定してよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

---

**○立崎聡一委員長** 続きまして、議案第3号網走市麦類乾燥調整貯蔵施設新設建築主体工事（2工区）請負契約の締結について説明を求めます。

**○小原功建築課長** 議案資料16ページ、資料3号、併せて図面資料を御覧願います。

議案第3号網走市麦類乾燥調製貯蔵施設新設建築主体工事（2工区）請負契約の締結について御説明いたします。

契約の内容でございますが、入札執行は令和2年8月11日に、一般競争入札にて実施いたしました。

今回、落札業者の早水、塩川、特定建設工事共同企業体と、7億7,660万円を契約を行おうとするものでございます。

工事完了予定日は、令和3年3月19日でございます。

工事の概要でございますが、契約の目的、工事施工場所につきましては記載のとおりで、工事概要といたしましては、機械棟、鉄骨造、2階建て、延べ床面積1,678.03平方メートルのうち、2工区施工分699.39平方メートル、及び、記載の施設に係る建築工事でございます。

以上でございます。

**○立崎聡一委員長** 質疑に入ります。

**○山田庫司郎委員** 入札参加業者の数と予定価格、そして及び落札率について教えていただきたいと思っております。

**○小原功建築課長** 2工区につきましても1工区と同様となりますが、市内業者3社によるJVと、市内、市外ともに3社によるJVでございました。合計で6JVです。

落札率の関係でございますが、予定価格は税込みで7億9,750万円、落札価格が7億7,660万円でございますので、落札率は97.38%でございます。

**○立崎聡一委員長** 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、お諮りいたします。

議案第3号網走市麦類乾燥調製貯蔵施設新設建築主体工事（2工区）請負契約の締結については、全会一致により原案可決すべきものと決定してよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

そのように決定いたしました。

---

**○立崎聡一委員長** 続きまして議案第4号網走市麦類乾燥調整貯蔵施設新設電気設備工事請負契約の締結について説明を求めます。

**○小原功建築課長** 議案資料17ページ、資料4号、併せて図面資料を御覧願います。

議案第4号網走市麦類乾燥調製貯蔵施設新設電気設備工事請負契約の締結について御説明いたします。

契約の内容でございますが、入札執行は令和2年8月11日に、一般競争入札にて実施いたしました。

今回、落札業者の道北、高木、光栄、特定建設工事共同企業体と、1億5,675万円を契約を行おうとするものでございます。

工事完了予定日は、令和3年3月19日でございます。

工事の概要でございますが、契約の目的、工事施工箇所につきましては記載のとおりで、工事概要につきましては、記載の施設建設に係る電気設備工事でございます。

以上でございます。

**○立崎聡一委員長** 質疑に入ります。

**○山田庫司郎委員** これも同様です。

入札参加業者の数と、予定価格及び落札率について

て、教えていただきたいと思ひます。

○小原功建築課長 電気設備工事につきましては、応札が市内2JV、市外3JVの合わせて5JVにより、入札が行われました。

落札率の関係でございますが、予定価格、税込みで1億6,500万円に対し、落札価格1億5,675万円でございますので、落札率は95.0%でございます。

以上でございます。

○立崎聡一委員長 他に。

○澤谷淳子委員 すいません、最初の資料2、3、4、全部で大体耐用年数は、新しく建てて、大体どれくらいなのでしょう。

○小原功建築課長 鉄骨造りでございますので、45年から50年はもつかと考えております。

○澤谷淳子委員 それで、私、勉強不足ですいません、今もありますよね。

それは、何かこう、改築とか何かするのですか。

そのまま、さらにこれを新築ですか。

○小原功建築課長 工事名は新設工事となっておりますけれども、既存の施設の増築という扱いになるものでございます。

○澤谷淳子委員 ありがとうございます。

すいません。

○立崎聡一委員長 他にございせんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、お諮りしたいと思います。

議案第4号網走市麦類乾燥調製貯蔵施設新設電気設備工事請負契約の締結については、全会一致により原案可決すべきものとして決定してよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

そのように決定しました。

---

○立崎聡一委員長 続きまして、議案第5号財産の取得について説明を求めます。

○石井公晶都市管理課参事 議案資料18ページ、資料5号を御覧願います。

議案第5号財産の取得、融雪剤散布車の購入について御説明いたします。

取得の理由ですが、現車両につきましては、平成5年10月の初度登録から27年が経過し、経年劣化に加え、車体の腐食が著しいことから、更新しようとするもので、取得財産の概要につきましては、資料に記載のとおりであります。

令和2年8月11日に指名競争入札を行い、落札者

と仮契約を交わしておりまして、取得金額、相手方は資料に記載のとおりでありますことから、網走市財産条例第2条の規定に基づき、議会の議決をいただいた上で、本契約を行おうとするものであります。

なお、納入期限につきましては、令和3年3月19日でございます。

以上でございます。

○立崎聡一委員長 質疑に入ります。

質疑ございませんか。

○山田庫司郎委員 今説明をいただきました。

まず、先ほどから聞いていますが、指名競争入札です。

いろいろ特殊な状況がありますから、きっと指名ということも含めて、入札をしたのかなというふうになんか推測いたしますが、何社で入札を終えたか。

また、予定価格等、落札率についても、ぜひ教えていただきたいというふうに思ひますし、今説明ありました、納入期限の関係です。

いつもですね、非常に、来年度から間違いなく使えることにはなるのですが、冬期に使う資材と申しますか、車両です。

そういう意味では、ひと月も、1日ものという極端な話をしますと、早くですね、納入していただいて、原課、現場でやっぱり使えるという状況が、やっぱり一番理想だというふうになんか思ひているのですが、3月19日ということになってはいるのですが、いつも御答弁いただくのは、なるべく早くということも含めてですね、でき上がった段階では、納入していただくという答弁をいただいているのですが、その辺は変わらないのか、それとこれについてはですね、3月の議会で、当初予算ということで計上している予算です。

なんで8月になったのかなという、私の率直な疑問です。

例えば、5月あたりでも、もし入札が可能であれば、3月が3カ月ぐらい早まって、12月ごろに納入ということも、可能性はあったのかなんかというところもちょっと考えるところがあるのですが、この入札がこういう形になったということも含めてですね、ぜひ御説明いただきたいと思ひます。

○石井公晶都市管理課参事 まず、指名業者の数だとか、予定価格だとかについて御説明をいたします。

まず、指名業者の数ですが3社でございまして、内訳としては市内業者が1社、準市内業者が1社、市外業者が1社の3社ということになっております。

そして、予定価格につきましては、税込みで5,557万6,400円ということになります。

落札価格につきましては、資料記載のとおり、税込み価格で5,428万5,000円ということで、落札率につきましては、97.68%ということになっております。

納入期限についてなのですが、こちらについては特殊車両ということで、受注生産品だということもありましてですね、取得の相手方からは、製造には時間を要するというふうには伺っております。

この納入期限の基準につきましては、相手方と協議の上での期限とさせていただいているところがございます。まして、当方としましても、できるだけ早く使いたいという部分はあるのですが、そういった事情から、一応、来年度は主力というような形で考えてございます。

そして、予算の兼ね合いなんです。当初予算に計上させていただいておりましたが、当初は、社会資本整備交付金という交付金を使って整備をする予定でございましたが、より有利な、国の事業ということで、緊急自然災害防止対策事業債というものを活用可能だということが、昨年度末ぐらいに、その辺の事情がわかりまして、認められるかどうかということ国の方にお願いしたところですね、それが認められたということで、前回の6月の第2回定例会の方に補正予算を上程させていただきまして、承認をいただいた、そのあとにですね、諸般の情勢を北海道だとかと行いまして、入札に至ったという経過がございまして、当初からそういうふうなことで進んでいけば、もうちょっと納期を早めるということができたかもしれないのですが、そういった事情がございまして、御理解いただければというふうに思っております。

**○山田庫司郎委員** はい、わかりました。

そういう形で支援の新たなやっぱり有利な事業があったので、そこをちょっと見極めたということの経過の中で、入札が遅くなりましたと。

ただ、次の議件でも同じようなこと聞いたらまたあれなのですが、これも6月の補正で、次のやつも計上してるはずなので、これも同じですね、そうしたら。

委員長ごめんなさい、先に聞いちゃって。

わかりました、次に聞きます。

**○立崎聡一委員長** 他に質疑ございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

それでは、お諮りします。

議案第5号財産の取得については、全会一致により原案可決すべきものとして決定してよろしいでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

そのように決定いたしました。

---

**○立崎聡一委員長** 続きまして、議案第6号財産の取得について説明を求めます。

**○石井公晶都市管理課参事** 議案資料20ページ、資料6号を御覧願います。

議案第6号財産の取得、凍結防止剤散布車の購入について御説明いたします。

取得の理由ですが、現在、凍結路面への包括剤散布作業は、散布機を車載した2台の現有車両で行っておりますが、薬剤を貯蔵するタンクが小型の機種であり、一度に散布できる距離も限られることから、作業の効率化を図るため、今回、新たに専用車を購入するもので、取得財産の概要につきましては、資料に記載のとおりであります。

令和2年8月11日に指名競争入札を行い、落札者と仮契約を交わしておりまして、取得金額、相手方は資料に記載のとおりでありますことから、網走市財産条例第2条の規定に基づき、議会の議決をいただいた上で、本契約を行おうとするものであります。

なお、納入期限につきましては、令和3年3月19日でございます。

以上でございます。

**○立崎聡一委員長** 質疑に入ります。

**○山田庫司郎委員** 先ほどの経過がありますから、質問させていただきます。

まず、指名競争入札の参加業者といいますが、数を教えていただきたいのと、予定価格及び落札率を、ぜひ教えていただきたいと思っております。

それと、先ほども御説明あったのですが、やっぱり支援の有利な事業があったということで、これも6月の議会で補正で計上された予算だというふうに認識をしていますが、8月にずれたということは、そういう経過だということよろしいかどうか。

それと、もう1点ですが、現在2台の車が小規模

ですけれども、あるということです。

この2台は廃車しないで使うということによろしいですか。

**○石井公晶都市管理課参事** まず、指名業者の数、落札金額等につきまして、まず、指名業者につきましては、先ほどの融雪剤散布車と同様に3社で、市内業者1社、準市内業者1社、市外業者1社の3社になっております。

予定価格につきましては、税込み価格で2,526万9,200円となっております、落札価格につきましては、税込みで2,461万8,000円と、落札率につきましては、97.42%ということになっております。

そして、予算の兼ね合いにつきましては、先ほどの融雪剤散布車と同様に、6月の議会で補正予算として計上したという部分で、入札が今の状況になったということでございます。

それで、現有車両2台につきましては、合計で3台になるんですけれども、うち2台を、この凍結防止剤散布車に使うような形で、もう一つの車両につきましては、廃棄という形はなく、ほかの作業にまだまだ活用するという事で考えております。

**○山田庫司郎委員** はい、わかりました。

**○立崎聡一委員長** 他にございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、お諮りいたします。

議案第6号財産の取得については、全会一致により原案可決すべきものとして決定してよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

そのように決定いたしました。

全体を通して、各委員、理事者より何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、これで総務経済委員会を終了いたします。

御苦労さまでした。

午前11時23分閉会

---